

1. 社会福祉学科で学科長を務めております和田と申します。一言、ご挨拶申し上げます。
2. 学科長はみなさんを待っていました！
3. 昨年のオープンキャンパスでお会いした方、そうでない方、いろいろだと思いますが、私だけでなく、教員全員が、みなさんを待っていました。今、とてもワクワクしています。
4. みなさんは「仕合わず」という言葉を知っているでしょうか。
5. 中島みゆきさんの「糸」という歌詞に、こんなフレーズがあります。
(以下、スライドで提示)
“縦の糸はあなた 横の糸は私、織りなす布は いつか誰かを暖めうるのかもしれない”
“縦の糸はあなた 横の糸は私、逢うべき糸に 出逢えることを人は**仕合わせ**と呼びます”
6. この「仕合わせ」とは、社会福祉の目指すところの、「幸せ」の語音の元となったという説があります。
7. 昔、この「仕合わず」は、果し合い、決闘といった命のやりとりにも使われていました。
8. それを仕合（しあい）といったのです。今は「試合」と書きますね。（スライドで表示）
9. この命のやりとりをするほどのさだめ、運命、めぐりあわせという必然を含んでいるのが、「仕合わせ」という言葉です。
10. では、どうしたら、命の取り合いではなく、そのめぐりあわせを「幸せ」とすることができるのでしょうか。

11. 「命とはその人の時間そのもの」、と言われます。今この瞬間の 1 秒 1 秒が、みなさんの命を、死に向かって削っていると、いえるかもしれません。
12. 現代社会の「仕合わせ」とは、一人ひとりの時間のやりとり、即ち「関わり」をいうのかもしれない。
13. 人との関わりを「幸せ」にしてゆくこと、それは、出逢った糸を、そのめぐりあわせを、どのように布へと変えていくのか、つまり、その出逢いをどう成熟させていくのかが、「仕合わせ」を「幸せ」とする、とても大事なことだと考えています。
14. いよいよみなさん、一人ひとりの 4 年間という命のスタートです。
15. 不安と期待の交じる、ワクワク感だと思います。
16. 今日の出逢いを成熟させる時、思うようにならないこと、うまくいかないことが必ずあります。
17. 大人への階段を上がる時、自分自身が苦しくなったり（我苦）、何がしたいのかわらなくなったり（判苦）、友人との輪がうまくいかなかったり（輪苦）、思いや話が伝わらなかったりすると思います（話苦）。お互いの糸が、1 枚の布になるためには、努力がいるのです。
18. 今日早速、自分の時間とみなさんとの時間を、手話を通じて「関わり」をもった学生がいます。1 年生の平岡さん、山岡さん、2 年生の前田さんです。
19. みなさんも、ぜひ、いろいろな学びの機会に積極的に取り組んでください。自分探しではなく、自分試しをしてください。
20. そして、本学の「和の精神」をもって、4 年間で駆け抜けてください（和駆和駆；スライドで表示）。
21. そして、今日の出逢いが一生の友となることを望みます。本日は、ご入学おめでとうございます。